

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



あそぼう・まなぼう・つたえよう

～生涯学習フェスタ2014～

生涯学習フェスタ2014が、12月20日に中央公民館で行われ、ステージ発表や体験コーナー、作品展など日頃の学びの成果を披露しました。

会場では、公民館講座受講生や高校生ボランティア、講師による体験コーナーやステージ発表が行われたほか、秋田北鷹高校家庭クラブによる「北秋田コロッケ」の試食会では、揚げたての2種類のコロッケが振舞われ、コロッケの人気投票も行われました。

また、ささえとゆかいな仲間たちの作品展や販売、比内養護学校たかのす分校の「絆カフェ」、J A

鷹巣町女性部「まごころ」も出店し、参加者は多彩なイベントで学びと交流の輪を広げました。



▲秋田北鷹高校家庭クラブのコロッケの試食会

サトシンさん&みつつさんの絵本ライブ

～ミラクルうんコロボ～

絵本作家サトシンさんと、大仙市のパパ絵本チーム「パパコロボ」のみつつさんによる絵本ライブ「ミラクルうんコロボ」が、12月20日に中央公民館で行われ、たくさんの親子連れが参加しました。

ライブでは、絵本をスクリーンに映して迫力のある歌と音楽に合わせた、サトシンさん独自のスタイルの読み聞かせに子どもから大人まで引き込まれていました。また、サトシンさんとみつつさんによる子育てを応援する絵本ライブのあと、子どもたちが手のひらを絵本に見立て、自分で物語を考える「おて

て絵本」を披露し、どんどん想像の世界を広げていく様子に、会場からは暖かい拍手が送られました。



▲子どもたちが自分で考えた「おてて絵本」を発表

校訓は「明るく 楽しく 元気よく」

～冬の笑楽校(しょうがっこう)2015～

今年で4回目となる「冬の笑楽校」が、1月10日に中央公民館で行われ、保育園児から大人まで27人が参加し、地域の先生の授業を楽しみました。

1時間目の国語は、龍泉寺住職の佐藤俊晃さんを講師に「干支のおはなし」を、2時間目の総合学習は、秋田県レクリエーション協会理事長の佐藤彰吾さんを講師に手品を学びました。3時間目の家庭科では、市内在住で料理研究家の佐藤絹子さんを講師に「調理実習」に挑戦したほか、4時間目の理科では、秋田大学の先生や学生を講師に4種類の理科実

験を体験し、地域や学校の違う子どもたちが、授業を通して楽しく交流しました。



▲楽しみながら協力して調理する子どもたち

学びの広場

Gちゃんサミット in 北秋田市

パート2 アンコール編

●生涯学習 ●公民館活動 ●文化振興 ●学校 ●スポーツ

日時 2月14日(土)

9時30分～15時30分

会場 中央公民館

【基調講演】 9時40分

講師 鳥居一頼氏

(地域福祉アドバイザー)

【シンポジウム】 10時40分

「元気をつなぐ人間パワーパート2」

「コーディネーター」 佐藤潔氏

(北教育事務所主任社会教育主事)

「シンポジスト」 小笠原忠夫氏(前

山郷土芸能保存会会長)、関源一氏

(合川にわか劇団)、鈴木繁氏(峠のシ

ルバース)、佐藤一巳氏(時報荒瀬灯)

【元気団体・名人&キッズステージ】

12時50分～15時30分

中央公民館定期講座

●生涯学習 ●公民館活動 ●文化振興 ●学校 ●スポーツ

日時 2月17日(火)

10時～12時

会場 中央公民館

演題 「未曾有の大災害の復興に

どう立ち向かったか」

講師 高橋学氏

(秋田県埋蔵文化財センター)

合川公民館「ろばた講座」

●生涯学習 ●公民館活動 ●文化振興 ●学校 ●スポーツ

日時 2月6日(金)

13時30分～15時

会場 合川公民館

演題 「ふるさとで夢を追って」

講師 畠山慎咲氏

(畠山牧場、ポランファーム)

※申し込みは不要です。

森吉公民館短期講座

●生涯学習 ●公民館活動 ●文化振興 ●学校 ●スポーツ

日時 2月23日(月)

13時30分～15時30分

会場 森吉公民館

参加費 無料 定員 15人(先着順)

申込締切 2月16日(月)

葛黒火まつりかまくら

●生涯学習 ●公民館活動 ●文化振興 ●学校 ●スポーツ

日時 2月15日(日)

16時～ご神木

まつり」を行います。

起き上げ開始、18時～点火儀式

場所 七日市葛黒火まつり会場

主催 葛黒火まつりかまくら実行委員会

無料送迎バス ※要予約

▽中央公民館 15時発(定員28人)

▽七日市公民館 15時発(定員25人)

ふるさとの文化財

83

北秋田市指定無形民俗文化財

(民俗芸能)

○「萱草獅子踊り」

- ◇所在地 北秋田市阿仁萱草
- ◇管理者 萱草獅子踊保存会

◇内容

大名行列を模したものに獅子舞を組み合わせたもので、先祖の供養と豊作祈願のために演舞されたといわれています。

行列は鎮守の神社から出発し、村の有力者の門前や中庭で踊り、最後に墓地で踊りました。

記録では、先払い6人を先頭に、東西人、高灯籠、紅白の旗、アネ槍、羽根オドルガイ、二本槍、長ぼんぼり、五本槍、弓、鉄砲、鷹、はさみ箱、駒、馬印、台笠、立笠、薙刀、廻ばんぼり、押さえの槍、獅子、大太鼓、笛、岡太鼓(獅子舞用)の順に、およそ60人の行列だったと伝えられ、壮観だったと思われま

す。行進しながら、奴踊り、棒使い、駒踊りも演じられ、最後に太夫・才蔵が出てきて「万歳」を演じて終了したといわれています。

◇起源

藩政時代に始まったと言われている



▲萱草獅子踊り

いますが、天保3年(1832年)の大飢饉以降は中断しています。明治25年(1892年)頃に再興されてからは、近在などに遠征公開するほど盛んであったと伝えられています。

◇開催日・場所

以前は8月13日から3日間、墓地で盆踊りとして親しまれてきたといわれています。(山の神社社、地域内の各所)

◇現在は後継者不足により中止していますが、萱草獅子踊保存会によると用具類は保存して使用できるため、市外の方にも継承してほしいとのこと

▽平成7年3月6日市指定文化財
▽資料/北秋田市教育委員会作成
資料、「秋田民俗芸能アーカイブス」(国際教養大学)、萱草獅子踊保存会(親戚団)から聞き取り
▽紹介者/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二